

園だより



2018.1.26

東山ぽぽ保育園

vol. 155



1月の寒空の下、元気に外遊びする子どもたちの声が聞こえます。先日も保育所保育指針の改訂の研修会に参加しました。今年の4月からの施行に向けて、私たちの準備も急ピッチです。神戸大学の北野幸子氏は、最近の知見を交えながら、新しい指針の変わることに変わらぬことを整理してくれました。変わらないものは、「心を大切にしたい保育」。これは、より確固とした位置づけとなりました。なぜなら、国際化、情報化、人工知能化時代には、学力だけではなく、非認知能力と言われる心を育てることが大切と示されているからです。そして、環境を通じた保育、主体性を尊重した保育、遊びと生活中心の経験主義的教育も、これまでと変わらない内容です。一斉に字を教えたり、計算の仕方を教えたりするのではなく、例えば友達に気持ちを届けたいから字を書きたい、みんな同じ数にするためにおやつをいくつずつ分けたいかを自然と考える、という体験を通してする教育です。興味や関心や意欲を、一緒に生活する大人の応答や生活の環境と体験で育てるということを指します。教育という字は同じですが、小学校以降の教科主義教育とは明らかに違います。むしろ、今では小中高の学校教育でも、アクティブラーニングという、調べたり話しあったりする、保育所と同じような方法がしきりに取り入れられるようになってきています。インターネットで簡単に手に入られる知識を使って、どのようにそれを応用し、生活の中で課題解決に結びつけていけるかという力が求められるようになってきているからです。乳幼児期から学校教育まで、目指す方向が統一されたとも言えます。土台を作る保育所の責任はますます重い、と考えたところで、教えてもらった心強いキーワードを思い出しました。それは、「気づきあい」「育ちあい」。保育所は0歳からの集団教育の場であるがゆえに、「気づきあい」「育ちあい」の先に「共感の育ち」があるということです。その証拠に、保育所の2歳児の84%が「～ね」という共感の言葉を使うそうです。保育所保育指針を指標に、子どもとともに職員一同、「育ちあいたい」と思っています。どうぞよろしく願いいたします。

2月の行事予定

- | | |
|---------------|---------------|
| 1日(木) 身体測定 | 17日(土) クラス懇談会 |
| 2日(金) 節分(行事食) | 22日(木) 避難訓練 |
| 14日(水) 月例健診 | 23日(金) 誕生会 |

2月生まれのお友達です。おたんじょうびおめでとう！！

2歳 になります！

3歳 になります！

4歳 になります！

5歳 になります！

6歳 になります！

おもしろいよ、この絵本！



こまめ

「かお かお どんなかお」
笑った顔、眠っている顔、真似っこしながら楽しんでいます。



そらまめ

「いろいろバス」
たくさん色が出てきて…「あか！」「あお！」
「きいろ！」と、指差しながら楽しんでいます。



えんどうまめ

「おっしくらまんじゅう」
♪大好きなバナナさんやトマトさんと・・・
「ほかほか～」ほっこり温まる絵本です。



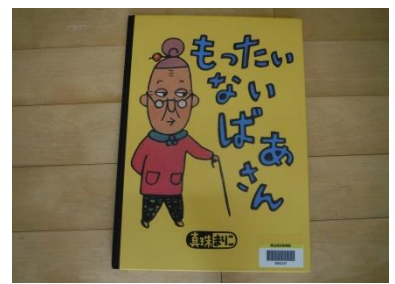
ひよこまめ

「ねこふんじゃった」
一緒に歌を歌いながら楽しんでいます。



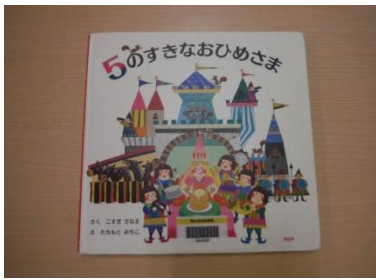
本園びび

「こんとあき」
こんとあきの旅にドキドキハラハラ・・・
最後には「よかったね～」とみんなでほっ！



分園びび

「もったいないばあさん」
「もったいないこと してないかい」
の、おばあさんの言葉が心を捉えます。



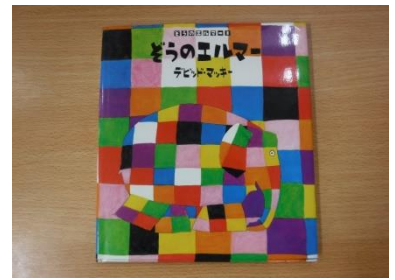
赤チーム

「5のすきなおひめさま」
1から10までの数字がでてくる物語☆
何度も声に出して、楽しんでいます。



黄チーム

「やまんばのむすめ まゆのおはなし」
女の子なのに予想以上に力持ちな、まゆの
姿に大歓声があがります！



青チーム

「ぞうのエルマー」
パッチワークのぞう、エルマーのことが、
ぞうの仲間も、青チームもだいすきです。



緑チーム

「ゆび★びびー」
春の頃から緑チームで親しんでいる絵本です。
絵を見て自分で指先を使って読むのを楽しん
でいます。



ぼぼ

「エルマーのぼうけん」シリーズ
長編の本で3部作です！絵がなくてもお話を聞いて想像したり、
感想を友達や大人と話したり、次のお話までワクワクしているぼぼさんです。



次回のテーマは
“こんなに大きくなりました”
の予定です

